

東山動植物園との連携

実施者
連絡先

医学研究科 准教授 尾崎康彦 yozaki@med.nagoya-cu.ac.jp
システム自然科学研究科 教授 熊澤慶伯 kuma@nsc.nagoya-cu.ac.jp

URL

生物多様性研究センター <http://www.nsc.nagoya-cu.ac.jp/biodiv/>

連携・協力者

名古屋市東山総合公園

ポイント

平成 22 年度の覚書締結以降、多岐にわたる連携事業を実施しています

1 概要

- 本学では、東山動植物園と締結した覚書に基づき、希少動物の繁殖に関する研究及び遺伝子多様性のデータバンク、公園内のサインシステムの提案等、東山動植物園との連携事業を実施しています。

2 活動内容

- 日本国内の動物園飼育下のオランウータンの人工繁殖計画に寄与することを目的に、東山動植物園と連携し、ヒト生殖医療のオランウータン繁殖計画への応用に関する研究を行っています。（医学研究科）
- 動植物の遺伝情報を明らかにすることで、環境保全の基礎資料とするとともに国際的な DNA データベースの充実に寄与するため、東山動植物園で展示されている動植物の DNA 分析及びバーコード化を行いました。（システム自然科学研究科附属生物多様性研究センター）
- そのほか、公園内のサインシステムの提案（平成22年度）や北アメリカ大陸エリアに展示されている動物を紹介するリーフレットデザインへの協力（26年度）を行いました。（芸術工学部）

3 成果

- 29 年 9 月の「第 1 回野生動物保全繁殖研究会大会」において、雌のオランウータンに関する研究について東山動植物園等の教職員とともにポスター発表を行いました。
- 東山動植物園で飼育されている動物の DNA バーコードの分析結果について、28 年 7 月に報告書を発行しました。また、29 年 10 月になごや生物多様性センターで開催された第 4 回生物多様性センターまつりに東山動植物園と連名で出展し、DNA バーコーディング研究の成果について展示しました。



オランウータンの診察の様子



DNA バーコーディング風景



DNA バーコード
プロジェクト報告書